

平成21年度「専修学校を活用した就業能力向上支援事業」成果報告書

コース名	③女性対象コース		
事業名	ステップアップしたい女性のための Web 開発入門講座		
法人名	学校法人岩崎学園		
学校名	横浜デジタルアーツ専門学校		
代表者	理事長 岩崎 幸雄	担当者 連絡先	総務部総務課・課長 石井 宏光 TEL 045-311-5562
1. 事業の目的			
<p>公共職業訓練をはじめとするニート・フリーターや失業者を対象とした再就職のための教育プログラムにおいて、基本的な IT 活用スキル（文書作成、表計算、プレゼンテーション、データベース等の活用スキル）を養成するプログラムは既に数多く実施されてきており、産業界のニーズも更に高度なスキルをもった人材を求めるケースがでてきている。</p> <p>そのような状況の中、本事業では、現在 IT 業界において人材不足であり求人ニーズが高いセキュリティに関する知識を兼ね備えた実践的な Web 開発エンジニアを養成する講座を実施する。本事業は、講座の内容が既存の講座と比較してステップアップした実践的な内容となっているとともに、受講者が再就職に向けて段階的にステップアップしていけるよう訓練講座の前後の期間を含めてプログラムを構築する。</p> <p>具体的には、講座開始前に職場見学会を開催するとともに、講座期間中に IT 業界で活躍する女性の講演会を開催し、女性がやりがいをもって活躍し続ける職場のイメージ作りの支援に資する内容とする。また、講座期間中は専門のキャリアコンサルタントを配置し、ジョブカードを活用した受講者個別の就労相談の場を設ける。そして、講座終了後はフォローアップ講座を実施し、講座における不明な点の解消や講座で習得した知識の定着化を図る。</p> <p>今回の講座内容は、本校にとって初めての試みであるとともに、基本的な IT 活用スキルを養成するプログラムと比べて講座内容のレベルが高いため、本年は 80%以上の修了者を輩出することを目標とする。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間）			
<p>講座期間の前半で Web アプリケーション開発のプログラム、後半で Web セキュリティのプログラムを同程度の時間数で集中的に実施し、それぞれの基礎知識を短期間で習得するカリキュラムを構成した。前半のプログラムでは、初心者でも習得しやすいよう Web プログラミング言語は平易な文法の PHP を用い、後半のプログラムでは、利用者（初心者）の観点から Web を利用する上での危険性や必要となる情報セキュリティ対策を説明して意識の向上を図った上で、Web 開発者として取り組むべき対策の説明を行った。基礎知識の確実な習得を促すために前半、後半のプログラムともに、随時、理解度確認テストを実施</p>			

した。

また、それぞれのプログラムにおいて実践的な知識・技術を習得できるよう考慮した。前半のプログラムにおいては、25%の時間数をブログ機能を作成する実習の時間に割り当て、Web 開発のイメージを掴むことを重視して実施した。後半のプログラムにおいては、開発物に対するセキュリティ検査を実際の現場で使用されているツールを使用して実施することを予定していたが、受講生のスキルが想定より低かったため、ツールは使用せずに特定の検査結果に対する対策をグループ作業で検討・実施する内容とした。

- 開設講座数 : 1 講座
- 総授業時間数 : 1 2 0 時間
- 開設期間 : 平成 2 1 年 1 0 月 2 8 日～平成 2 1 年 1 2 月 2 5 日

(内訳)

- 開講式 3 時間
- 修了式 3 時間
- Web アプリケーション開発プログラム 6 0 時間
- Web セキュリティプログラム 5 1 時間
- 就職支援 (講演会) 3 時間

●講座内容

①Web アプリケーション開発プログラム

- ・ HTML の基礎
- ・ MySQL によるデータベース管理
- ・ PHP による Web アプリケーション開発
- ・ 総合演習 (ブログ機能作成)

②Web セキュリティプログラム

- ・ Web セキュリティとは
- ・ Web サイトにおける脅威と脆弱性、その対策
- ・ セキュリティを考慮した開発手法
- ・ セキュリティ検査
- ・ 脆弱なプログラムの改修

③就職支援

- ・ 第 1 回 : IT 業界と情報革命
- ・ 第 2 回 : 女性のキャリアアップについて (さまざまなデータから)
- ・ 第 3 回 : 女性のキャリアアップについて (経験から)

※IT 業界で活躍する女性に全 3 回の講演を依頼した。

上記の他、講座時間外にキャリアカウンセラーによる個別のカウンセリングを合計 4 6 名分実施した。なお、カウンセリングは 1 人最大 2 回までとして希望者に対して実施したところ、1 回実施した人が 6 名、2 回実施した人が 2 0 名となった。

また、講座開始前 (平成 2 1 年 1 0 月 2 7 日) に以下のような内容の職場見学会を 1 回開催した。

<職場見学会内容>

- ・ パソコン演習 (Excel を使ったデータベース活用) 2 時間
- ・ キヤノンシステムアンドサポート株式会社 横浜西事業所の見学 2 時間

さらに講座終了後に、講座での不明点の解消や知識の定着化を目的としてフォローアップ講座を実施した。

●フォローアップ講座内容

- ①Web アプリケーション開発プログラムの復習
- ②Web セキュリティプログラムの復習

●フォローアップ講座時間数：36時間

●フォローアップ講座開設期間

- ①平成22年1月12日～平成22年1月19日（平日6日間）
- ②平成22年2月8日～平成22年2月16日（平日6日間）

●フォローアップ講座受講者数

- ①17名
- ②10名

②受講者の募集方法（手法・期間・効果）

受講者募集にあたっては、主に下記の方法を用いて行った。

1. 神奈川県内の各施設にチラシ設置

- －ハローワーク 14ヶ所（各30部）
- －地区センター 80ヶ所（各30部）
- －市役所 19ヶ所（各30部）
- －女性センター 12ヶ所（各30部）

2. 「女性のための再就職・転職応援フェスタ」でのブース出展、チラシ配布
（2009年9月18日、男女共同参画センター横浜北等主催）

3. 新聞の折り込み広告、ポスティング

（平成21年9月9日～9月14日の間に横浜市の都筑区と青葉区に9万部発行）

4. 本校ホームページへの募集広告掲載

上記の他、本校で実施した講座の受講生へのチラシ配布や、本校の運営する幼稚園を通じてのチラシ配布を行った。

●応募者数：72人

72人の応募のうち、上記2のブース出展により23人の申し込み（当日20人、後日3人）があった。上記3の新聞の折込広告と上記4のホームページによる応募はそれぞれ2人程度であり、大半（45人程度）が上記1のチラシ設置による応募であった。

③受講者の状況

●受講者数：29人

応募者72人に対し、抽選により30人の当選者を決定したが、講座開始直前に1人のキャンセルが発生し、29人の受講者となった。

受講者29人は全員女性であるが、平均年齢は37歳であり、その年齢層は下記のとおりとなった。

- 20代：5人（17%）、30代：14人（48%）、40代：8人（28%）、
- 50代：2人（7%）

いずれも受講開始時点では、定職に就いていなかったが、就業経験はあるとのことであった。講座修了後に、修了者24人に対して、「再就職を考えている時期はいつ頃ですか？」という質問を行ったところ、下記のような結果となった。

1～3ヶ月以内：13人（54％）、3～6ヶ月以内：8人（33％）、
1年以内：1人（4％）、1～3年以内：0人（0％）、未定：2人（8％）

④受講者の意識調査等

受講者の満足度を測定するために、修了者24人に対して「今後、同様の講座があれば、知人・友人に薦めたいと思いますか？」という質問を行ったところ、下記のような結果となり、「絶対に薦める」もしくは「薦めたい」と答えた人数は、修了者全体の92％となった。（当該質問はNPSと呼ばれる顧客満足度の計測方法を参考として実施）

絶対に薦める：3人（13％） 薦めたい：19人（79％） どちらでもない：2人（9％）
薦めたくない：0人（0％） 絶対に薦めない：0人（0％）

また、修了者に対して「受講されたこの講座はあなたの役に立つと思いますか？」という質問を行ったところ、下記のような結果となり、「非常にそう思う」もしくは「概ねそう思う」と答えた人数は、修了者全体の74％となった。

非常にそう思う：4人（17％） 概ねそう思う：13人（57％） どちらでもない：6人（25％） あまりそうは思わない：1人（4％） 全くそう思わない：0人（0％）

⑤受講後の状況（修了者数・就職率）

●修了者数：24人

受講者29人中、24人が規定の出席時間数（全時間数の70％）に達したため、修了証を交付した。

●成果報告書提出時点における受講生就職状況

- ・就職希望者数：21人
- ・就職者数：4人（いずれも非正規雇用）
- ・非就職者数：17人

受講者数に対する就職率は14％という状況となっている。

3. 事業の評価に関する項目

①当初目的の達成状況

修了者数は、受講者の83％である24人となり、当初設定値を達成したが、就職率は非常に低い値となってしまった。この原因としては、下記のようなことが考えられる。

- ・長引く不況により、IT業界の求人が大幅に冷え込み、大手人材派遣会社から入手した全ての求人票には実務経験が応募資格として記載されていた。修了者のうち、実務経験がある人は5人であり、大半がこの時点で提示した求人票の条件から外れてしまった。
- ・講座修了後に行ったアンケートでは、修了者の67％である16人が事務職を希望職種としてあげており、講座内容と希望職種がマッチしていない人が多かった。

- ・キャリアカウンセリングを行った結果、就職への希望条件が不明確な人が多いことや、履歴書や職務経歴書の書き方が分からないという人も何人もいるということがわかり、当初想定していた受講者のレベルと実際の受講者のレベルにギャップがあった。実際の受講者が就職に必要なスキルを身につけさせるには、今回の講座期間では不十分であったと考えられる。

②事業の成果及び改善点

主な成果は下記のとおりである。

- ・子育て等により比較的長期間にわたり離職していた女性を対象とした Web 開発技術の教育カリキュラムの構築
- ・IT 初心者に対する Web 開発技術の教育手法の確立
- ・再就職に向けた実践型教育プログラムの運用のための他組織とのネットワーク形成
- ・修了者 24 人に対して実施したアンケートの集計結果

改善点としては、下記のようなことが挙げられる。

- ・今回、受講対象者として「IT 技術の基本的な知識を習得していること」として募集を行い抽選により選考を行ったところ、受講者の多くが IT 初心者となった。そのため、講座開始後に実施内容のレベルを下げたが、それでも IT 初心者にとっては講座期間が不足していた。公平性を期すためには抽選での選考とする必要があるが、この場合、受講対象者を「プログラミング経験者であること」のようにより明確にして IT 初心者の応募が少なくなるように工夫するか、受講対象者を IT 初心者として講座時間数を多くするかという対処が必要である。
- ・履歴書や職務経歴書の書き方を指導することを含めて、基本的な就職支援の時間を増やす方が望ましい。

③次年度以降における課題・展開

Web 開発技術の教育プログラムを構築し、IT 初心者を対象とした場合の教育手法や適切な講座時間数がわかったため、次年度以降特に女性に限定することなく就職を目指す人を対象として展開していくことも可能であるが、女性を対象とした場合のノウハウや連携してきた機関があるため、IT 初心者の女性を対象とした講座を実施していくことが望ましいと考えている。また、今回の受講者には、Web デザインについて学びたいという人が比較的多かったため、在宅ワークや起業も含めた就職への可能性や受講ニーズの調査を行った上で教育プログラムを開発していくことも検討していきたい。

④成果の普及

講座修了後に実施したアンケート結果を今回連携した機関に報告するとともに、改善点についての情報共有を行い、次年度以降の展開につなげ、再就職を希望する人たちのスキルアップに向けて講座を実施していくことにより、成果の普及を図っていきたい。